# 食生活とエネルギー

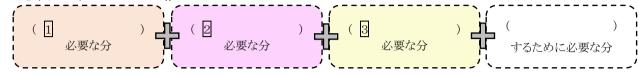
目標:消費エネルギーと必要なエネルギーを知り、適切なエネルギーを確保できる食生活を 計画できるようになろう

### ~物理の復習~

・1cal=( )J・・・( )の温度を1℃変化させるときに出入りする熱量

・1kcal=( )kJ・・・( )の温度を1℃変化させるときに出入りする熱量

# 必要なエネルギーの内訳



# 1 生きるために必要な分 < 基礎代謝量 >

・・・ 安静時や就寝時に、体温の保持や臓器の活動のために必要なエネルギーのこと。 1時間の基礎代謝量[kcal/h] = 基礎代謝基準値[kcal/kg・h] × 体重[kg] で算出可能

基礎代謝基準値(15~17歳)								
男性	女性							
1.13 kcal/kg·h	1.05 kcal/kg·h							
担任の先生の位	体重(高校時代)							
kg								

# 2 日常生活に必要な分

1時間の推定エネルギー必要量〔kcal/h〕 = 1時間の基礎代謝量〔kcal/h〕×身体活動レベル で算出可能

	身体活動レベル	
I(低い)	II(ふつう)	III(高い)
基本的に座っている時間が 主な生活	座っていることも多いが、移動 や立っている時間、軽めの運 動の時間もある生活	基本的に立っている時間が多く、習慣的に運動を行っている生活
1.55	1.75	1.95

## 3 スポーツに必要な分

METs (Metabolic equivalents)を用いて求めることができる。

・・・スポーツをするときに必要なエネルギー量が、基礎代謝量の何倍にあたるかを示す単位。 ※ 別紙資料参照

スポーツに必要なエネルギー量[kcal]=1時間の基礎代謝量 [kcal/h]× METs × 時間[h] で算出可能

### 1年 組 番 名前

### 担任の先生(高校時代)の1日の必要エネルギー[kcal/h]を計算しよう

0:00	:00	12:00	18	:00	24:00		
就 寝	自転車通学	授 業	部 活	自転車通学	勉 強		
(6h)	(0.5h)	(10h)	(2h)	(0.5h)	(4h)		

#### 計算欄

1時間の 基礎代謝量		
就寝(6h)	( ) × ( ) =	kcal
自転車(1h)	( ) × ( ) =	kcal
授業(10h)	( ) × ( ) =	kcal
部活(2h)	( ) × ( ) =	kcal
勉強(4h)	( ) × ( ) =	kcal
	必要エネルギー(	) [kcal]

# 担任の先生(高校時代)に適した1日の献立を考え、取得エネルギーを計算しよう

<u> </u>		=					
朝		昼		夜			
料理名	エネルギー量	料理名	エネルギー量	料理名	エネルギー量		
合計		合計		合計			
- 1 A-A- 188	1		Į.				

計算欄		
	取得エネルギー(	) [kcal]

食生活とエネルギー

# 自分の1日の必要エネルギー[kcal/h]を計算しよう

0:00 6:00				12:0	00					18:	:00			24:00			
計算欄																	
								ږ	<b>必要</b>	エネ	ベルコ	デー	(			)	(kcal)

# 自分に適した1日の献立を考え、取得エネルギーを計算しよう

		7X 10 - 177 1 C	HI ST USS				
朝		昼		夜			
料理名	エネルギー量	料理名	エネルギー量	料理名	エネルギー量		
合計		合計		合計			

計算欄

取得エネルギー(

) [kcal]

11月5日(火)「人間生活探究」で提出

# 1年 組 番 名前

# 振り返り

下表で当てはまるもののアルファベットを○で囲んでください。

	家庭科について
	1日に必要なエネルギーの内訳を理解し、必要なエネルギーを満す食事計画をたてることが
S	できた。さらに、1 食の中でのバランスや彩りを考慮することができた。
	1日に必要なエネルギーの内訳を理解し、必要なエネルギーを満す食事計画をたてることが
A	できた。
В	1日に必要なエネルギーの内訳を理解することができた。
С	1日に必要なエネルギーの内訳を理解することが難しかった。

	物理について
	人間が消費したり摂取したりするエネルギー量がどの程度の大きさなのかを、どの程度の水
S	量を温めるかに置き換えて考えることができた。また、放出(消費)するエネルギーと吸収(取
3	得) するエネルギーの区別をすることができ、さらに単位に留意して計算をし、次元に矛盾が
	ないことを確認することができた。
	人間が消費したり摂取したりするエネルギー量がどの程度の大きさなのかを、どの程度の水
Α	量を温めるかに置き換えて考えることができた。また、放出(消費)するエネルギーと吸収(取
	得)するエネルギーの区別をすることができた。
В	人間が消費したり摂取したりするエネルギー量がどの程度の大きさなのかを、どの程度の水
В	量を温めるかに置き換えて考えることができた。
С	人間が消費したり摂取したりするエネルギー量がどの程度の大きさなのかを、どの程度の水
	量を温めるかに置き換えて考えることが難しかった。

# 自己の変容について

この教科横断型授業での気づき、授業前後の自分自身の考えの変化を記述してください。